

令和3年度 事業報告

学校法人 函館国際学園

(1) 予算執行状況

- ① コロナ禍が収束しないことから、事業収入が大幅に減じている。さらに2月末からのロシアのウクライナ侵攻による世界情勢の激変もあり、収支の改善は見込めない状況にある。支出は最低限に抑えつつも、単年度収支での不足分は繰越金から補填する厳しい経営状況となった。
- ② 本年度入学の学生10名を含む26名の学生に対し、教職員が一層の連携を持ってきめ細かな指導に当たった効果で、年度中の退学者はいなかったが、3月31日付で病気のため1名が退学した。
- ③ 市内でオミクロン株が蔓延した際には、学生にコロナ陽性者が3名確認されたため、2月1日から4日間学校を閉鎖、オンライン授業に切り替えて対応を行ったが、それ以外は対面授業を継続している。
- ④ 11月14日～12月19日には、2年ぶりにウラジオストク留学実習を実施。2年生2名、3年生6名および昨年度実施できていなかった4年生5名と卒業生1名の合計14名が無事に修了できたことにより、コロナ禍で委縮していた在校生のモチベーションが高まった。昨年実施予定だった学生の留学費用は引当金から支出したため、経営に大きな影響はなかった。
- ⑤ 日本たばこ産業株式会社（JT）の奨学金は向こう3年間の支給が合意され、今年度の留学実習費用から適用された。また、奨学金の管理のために、特定資産として計上し、過去の余剰金についても以後、学生のために有効活用することでJT社の理解を得た。同じく石館奨学金についても、特定資産に計上して管理をする。
- ⑥ 学生募集活動で最も重要なツールとなる学校ホームページは、PC版・スマホ版とも全面改修し、3月1日から公開・運用されている。今までのページの継ぎ接ぎが解消、WEB出願が可能になるなど利便性が向上し、募集効果が期待される。

(2) 学生数の異動状況

(年度当初) 在籍26名 (年度末) 在籍25名

年度末に1名病気のため退学。睡眠障害により後期休学していた1年生1名は、4月より復学の予定。

学 年	1 年		2 年		3 年	4 年	合 計
	ロシア語科 211	地域学科 411	ロシア語科 221	地域学科 421	地域学科 431	地域学科 441	
年度当初	2 (休0)	8 (休0)	2 (休0)	3 (休0)	6 (休0)	5 (休0)	26 (休0)
現 在	2 (休0)	7 (休1)	2 (休0)	3 (休0)	6 (休0)	5 (休0)	25 (休1)

(3) 事業推進

コロナ禍で予定した事業の推進には少なからず制約が発生しているものの、ウラジオストク本学への留学や対面授業など、基本的な事項については実施できている。また、関東国際高校、富山高専などのロシア語受託研修ではオンライン授業も取り入れ、新規事業の開拓にも取り組んでいる。

① ロシア語市民講座：4コース開設、実施

	入門(夜)	初 級	中 級	上 級	合 計
前 期 (7月～ 9月)	4	4	5	5	18名
中 期 (9月～12月)	4	3	4	4	15名
後 期 (1月～ 3月)	4	4	5	3	16名

② はこだてベリョースカクラブ (文化講座) 一年6回実施： 受講者 24名

1	ソ連名作曲家 ゲオルギー・スヴィリードフ	6/24
2	オボジンスキー・ワレリー	7/12
3	日本のなかの露国式丸太小屋とペチカ	8/30
4	作曲家イサーク・ドゥナエフスキー	9/27
5	ロシアの妖怪	10/18
6	ロシアとアメリカ大統領の関係を3つの門から探る	11/15
7	(コロナのため中止)	2/14

- ③ 関東国際高等学校ロシア語研修 (オンライン) 3年生22名 4月実施済
- ④ 東海大学主催オンラインサマースクールに講師派遣 8月実施済
- ⑤ 富山高等専門学校ロシア語研修 (オンライン) 3～4年生14名 8月実施済
- ⑥ 学報「ミリオン・ズビョースト」107～110号 発行済
- ⑦ 市内小学生向け「夏休みマトリョーシカ絵付け教室」 9組 8月実施済
- ⑧ 「大人のマトリョーシカ絵付け教室」初開催 12名 12月実施済
- ⑨ 宮城県 古川学園高等学校修学旅行受入れ 2年生42名 12月実施済
- ⑩ 税関職員ロシア語受託研修 7名 1～3月実施済
- ⑪ 学生職員が撮影した写真を使用した2022オリジナルカレンダーの発行 12月実施済
- ⑫ ウラジオストク本学から例年受け入れている留学生は日ロ双方の合意のもとに延期

(4) 就職支援活動状況

学生の特性を生かしながら進路相談を行っている。卒業を目標とし、時間をかけて進学や就職を考える学生もあり、4年生2名と2年生1名が就職決定。

- ① 事務局による個別相談： 求人への発掘、会社選別や就職対策の指導、メンタル面の管理
- ② 学識経験者による就職支援： 要請に応じて履歴書の書き方、面接指導等に対応
- ③ 就職サイトや市内合同企業説明会への参加誘導
- ④ インターンシップへの参加誘導
- ⑤ 学生の進路希望についてのアンケートを分析して対応
- ⑥ 3月1日解禁の企業説明会、就職相談会への参加を学生に推奨

(5) 学生の活動状況

コロナ禍で学内外の行事が減っている中、「学生自治会」の活動を活性化させ、学生のやる気と自立心を高めることを目標に指導している。

- ① 学校紹介ビデオ作製：学生有志が校内を案内するビデオを作成、ホームページで公開中。
- ② 昼食供給プロジェクト：JASSO(日本学生支援機構)の学生支援事業の一環により学生生活に資するための支援金が供与され、学生が自主的に昼食を供給し金銭管理をした経験を生かして、今年度も2回実施。学生食堂の利用促進も図った。
- ③ 農業プロジェクト「アグリ八幡坂」：ハリストス正教会の畑を借り、野菜作りと収穫後にロシア料理を作ったほか、漬物を漬け、学生食堂で提供した。
- ④ 縄文プロジェクト：市民団体「縄文 DOHNAN プロジェクト」から依頼を受け、学生5名が縄文紙芝居「縄文ってなあに？」のロシア語翻訳およびナレーションを担当。作品はYouTubeで公開されたほか、研究を深化させ、アカデミックリンクで「ロシアから見た縄文」を発表。
- ⑤ JAL ウラジオストク支店によるオンラインセミナー「ロシアで働く」開催 5月実施済
- ⑥ 学習発表会 A B B Γ-Day の開催 7月実施済
- ⑦ 特定社会保険労務士によるオンラインでの「労働条件セミナー」開催 10月実施済
- ⑧ 税関・コンテナヤード見学(1年「貿易実務」) 10月実施済
- ⑨ 客員教授による「日ロ貿易論」(オンライン) 10月実施済
- ⑩ キャンパスコンソーシアム函館(CCH)主催のアカデミックリンク発表会(オンライン)へ3チーム参加、うち1チームが審査員特別賞受賞 11~12月実施済
- ⑪ ジョブカフェ北海道主催・(株)ウロコマシナリーによる「企業と学生の交流会」 1月実施済
- ⑫ 北連各連インタビュームービー企画「いまのわたし、高校生のわたし」参加 1月実施済
- ⑬ 「第24回はこだてロシアまつり」開催(出店なし、屋外のみ) 2月実施済

(6) 教育活動、地域貢献等

- ① ピアノ・バイオリンによるコンサート「極東の窓」から3： 学生・市民対象 7月実施済
- ② 市内図書館合同展示「はこだてLL文庫」の開催(オンライン) 10~11月実施済
- ③ 市内図書館合同研修会への参加 2月実施済
- ④ CCH 社会人のための異文化理解講座(ロシア編)講師派遣 2月実施済

(7) 学生募集活動

コロナ収束が見通せない中、募集活動は対面と遠隔を使い分けながらの対応を継続している。従来書類選考のみだった指定校推薦を含め、すべての試験でオンラインによる面接を実施し、志望者の適正を判断することとした。

- ① パンフレット等の送付
高等学校宛：626校(一般校216校、指定校322校、通信制各キャンパス88校)
資料請求者宛：78件(前年度資料請求者32件、2021年4月~46件)
- ② 高校訪問、出前授業
市内高校訪問 6月に実施(学務課長とロシア人教員の組み合わせで12校)
函館西高校 進学相談会 11月実施済
- ③ 学校見学 2件
- ④ オープンキャンパス実施 6/12(土)、9/26(日)
1/23(日)のオンラインオープンキャンパスは参加者なし。
- ⑤ オンライン個別相談 5件
- ⑥ 学生アンケート(新入生対象、5月実施)の結果と考察

(8) 理事会・評議員会等の開催状況

月 日	会 議	議 題
4月22日	会計監査	令和2年度 財産状況・業務執行状況監査
5月26日	理 事 会 評議員会	役員人事 令和2年度 事業報告および決算報告 令和3年度 事業計画(案)および予算(案)
11月24日	理 事 会 評議員会	令和3年度 事業中間報告及び決算見込み
令和4年3月23日	理 事 会 評議員会	役員人事 令和3年度 事業報告及び収支決算見込み

(9) 官公署認可・届出

事 項	内 容	所管官公署	年 月
資産総額変更登記	令和2年度決算による変更	法 務 局	登記 令和3年5月